

目標設定の考え方

目標設定の基本的な考え方

本県の過去の実績に即した将来推計と国の基本方針で示された削減目標を比較した上、本県の現状を十分に踏まえつつ、可能な限り環境負荷の軽減を図る方向で目標を検討する。

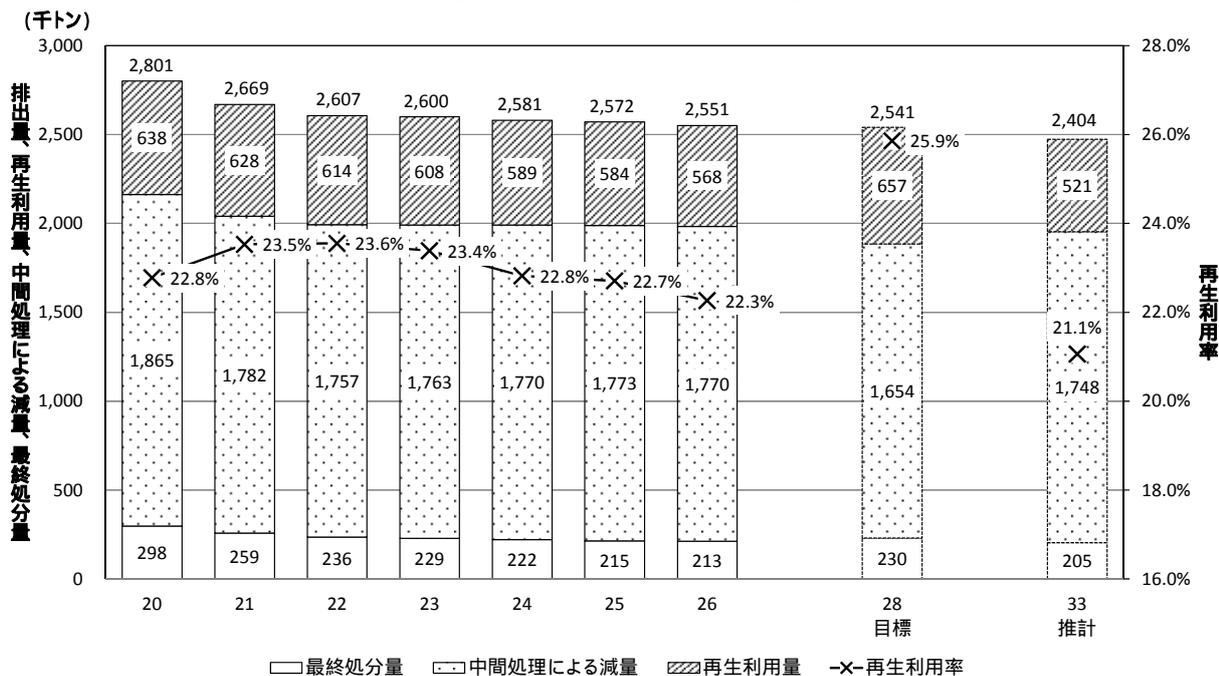
【一般廃棄物】

項目	国の基本方針	過去の実績に即した将来推計	目標(案)	目標の考え方
【新たな目標】 一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	500g	横ばい (540g)	500g	国の基本方針において新たに採用された指標であり、国の基本方針の目標(500g)を参考に検討する。 なお、「処理しなければならないごみの一人一日当たりの量」については、今後もデータの蓄積は継続実施するが、国の基本方針で新たに上記指標が示されたので、目標の指標としては採用しないこととする。
排出量	12%削減	減少傾向 (3%削減)	6%程度削減	過去の実績に即した将来推計を、国の基本方針の目標と比較したところ、3項目とも国の目標を満足しないため、新たに目標に加えた「一人一日当たりの家庭系ごみ排出量500g」を達成できるよう推計値を上回る目標を検討する。
再生利用率	27%	減少傾向 (21.1%)	23%程度	
最終処分量	14%削減	減少傾向 (3.8%削減)	7%程度削減	

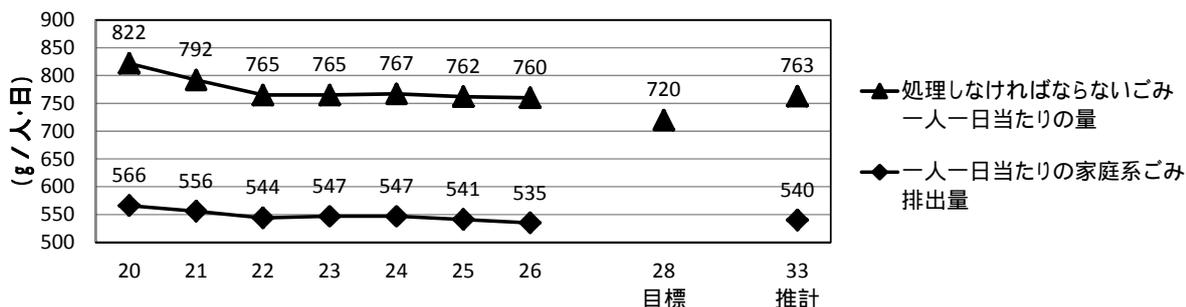
【産業廃棄物】

項目	国の基本方針	過去の実績に即した将来推計	目標(案)	目標の考え方
排出量	3%増加	増加傾向 (7%増加)	3%程度増加	過去の実績に即した将来推計を、国の基本方針の目標と比較し、国の目標を満足しない排出量と最終処分量の内、排出量については国と同等程度の目標を、最終処分量については増加傾向にあるものの、現状維持を基本に目標を検討する。 また、国の目標を満足している再生利用率については、過去の実績値の最大値を基本に目標を検討する。
再生利用率	56%	増加傾向 (71.2%)	74%程度	
最終処分量	1%削減	増加傾向 (6.4%増加)	現状維持	

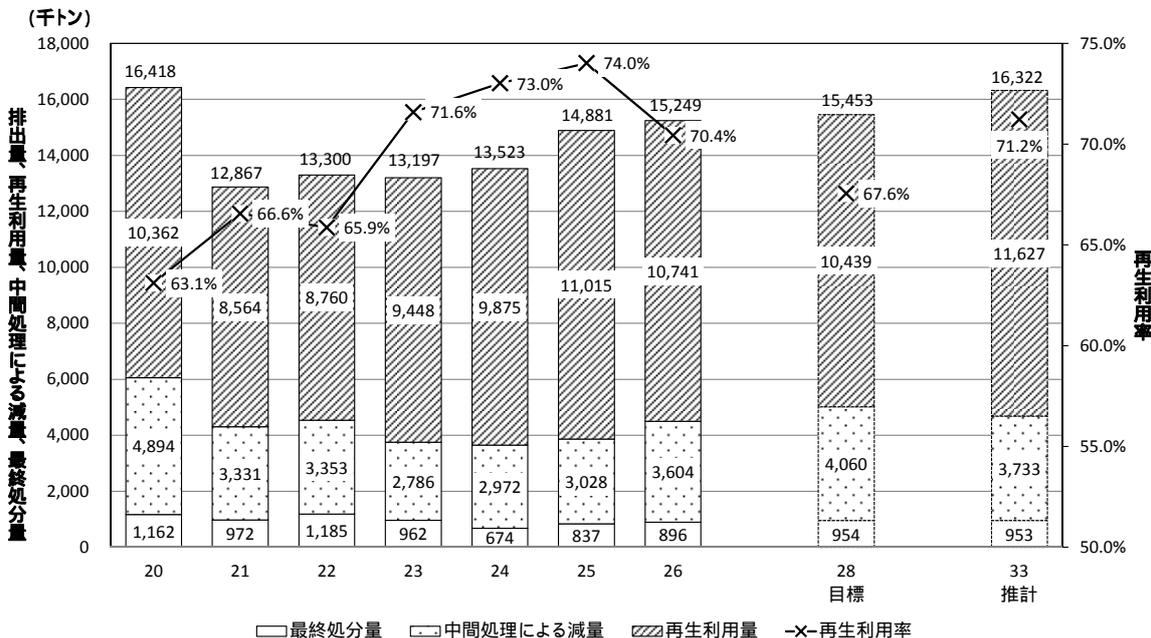
一般廃棄物処理の経年変化及び目標の達成状況等



処理しなければならないごみの一人一日当たりの量等の経年変化



産業廃棄物の経年変化及び目標の達成状況等



1人1日当たりのごみの排出量について

1 1人1日当たりのごみの量

ごみの総排出量 (+ +)		
生活系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	事業系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	集団回収量
混合ごみ	混合ごみ	
可燃ごみ	可燃ごみ	
不燃ごみ	不燃ごみ	
その他ごみ	その他ごみ	
粗大ごみ	粗大ごみ	
資源ごみ	資源ごみ	

2 処理しなければならないごみの1人1日当たりの量 (現県計画目標値)

ごみの総排出量 (+ +)		
生活系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	事業系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	集団回収量
混合ごみ	混合ごみ	
可燃ごみ	可燃ごみ	
不燃ごみ	不燃ごみ	
その他ごみ	その他ごみ	
粗大ごみ	粗大ごみ	
資源ごみ	資源ごみ	

3 1人1日当たりの家庭系ごみの排出量 (H28.1 国の基本方針目標値)

ごみの総排出量 (+ +)		
生活系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	事業系ごみ (計画収集 + 直接搬入)	集団回収量
混合ごみ	混合ごみ	
可燃ごみ	可燃ごみ	
不燃ごみ	不燃ごみ	
その他ごみ	その他ごみ	
粗大ごみ	粗大ごみ	
資源ごみ	資源ごみ	